

やさしい中学地理 2-1 前半(p40~p58)チェック問題 氏名

(1) 世界の気候帯は大きく5つに分けることができる。低緯度の地域から高緯度の地域に向かって [→ → → →] と分布している。

(2) 1年を通して気温が高い気候を[① 帯]という。その中でもジャングルのような[②]とよばれる樹木が発達した地域の気候は[③ 気候]に分類される。この地域では、森林などを焼いて畑をつくり、焼いたあとの灰を肥料にして農作物をつくる[④ 農業]で、イモなどを栽培している。一方で地球規模の環境問題にもなっている。床が[⑤ 高い / 低い]住居が多い。また、降水量が多い雨季と降水量が少ない乾季に分かれ、丈の高い草が生える草原が広がる地域の気候は[⑥ 気候]に分類される。

(3) 緯度が20~30度あたりは降水量が少ない[① 帯]である。その中でも1年を通して降水量がほとんどなく、水を得られるオアシスでのみ草や樹木が育つ地域の気候は[② 気候]に分類される。また降水量が少しあり、丈の短い草が生える草原が広がる地域の気候は[③ 気候]に分類される。モンゴルで遊牧生活を送っている人の住居は[④]と呼ばれる。雨がほとんど降らない地域では、土をこねて形をつくり、それを強い日差しで乾かしてつくる[⑤]の住居が多い。

(4) 日本も位置する中緯度地域には、温和な気候の[① 帯]が広がっている。四季が[② ある / ない]。北半球と南半球では、季節が[③ 同じ / 逆]である。季節によって吹く方向が変化する風を[④]という。夏は[⑤ 海から陸 / 陸から海]に、冬は[⑥ 海から陸 / 陸から海]に風が吹く。日本など、この風の影響が大きく、夏は高温多湿となる気候を[⑦ 気候]という。また1年中西から吹く風を[⑧]という。ヨーロッパ北西部など、この風と近くを流れる暖流の影響を強く受ける気候を[⑨ 気候]という。降水量が安定しており、年間の気温差が小さいのが特徴である。また北アメリカ大陸西岸など、夏は乾燥して気温が高くなり、冬は温暖でやや雨が多くなる気候を[⑩ 気候]という。夏は乾燥に強い[⑪ や]などを栽培する。

(1)		
(2)①	(2)②	(2)③
(2)④	(2)⑤	(2)⑥
(3)①	(3)②	(3)③
(3)④	(3)⑤	(4)①
(4)②	(4)③	(4)④
(4)⑤	(4)⑥	(4)⑦
(4)⑧	(4)⑨	(4)⑩
(4)⑪		

やさしい中学地理 2-1 後半(p59~p66)チェック問題 氏名

- (1) 日本の北海道など、主に北緯40~60度あたりに広がる気候帯は[①]である。ここでは針葉樹林、カタカナで[②]が見られる。また住居の床は[③ 高い / 低い]ものが多い。
- (2) 北極や南極に近い高緯度地域では、1日中太陽が沈まない時期があり、この現象を[①]という。また夜が長く、昼間でも暗い日が続く時期もあり、この現象を[②]という。
- (3) 北極や南極に近い高緯度地域では、1年中気温が低いのが特徴で、気候帯は[①]に分類される。これはさらに、1年中氷や雪に覆われる[② 気候]と、夏にだけ地表の氷がとけて、コケ類などが生える[③ 気候]に分けられる。
- (4) カナダ北部の北極圏には、先住民の[①]が住んでいる。この人たちは雪や氷を固めてつくった住居である[②]を利用する。
- (5) 南アメリカ大陸西部には、険しい山脈が南北に連なる[① 山脈]がある。赤道から近いところでも、標高が高ければ温度は[② 高く / 低く]なるので、過ごしやすい気候になる。このあたりに住む先住民を[③]という。標高が4000m以上の地域ではなかなか植物が育たないため[④ や]などの放牧をして暮らしている。また[⑤]と呼ばれる服を着ている人も多い。

(1)①	(1)②	(1)③
(2)①	(2)②	(3)①
(3)②	(3)③	(4)①
(4)②	(5)①	(5)②
(5)③	(5)④	(5)⑤

やさしい中学地理 2-2 チェック問題 氏名

- (1) 三大宗教とは[① 教、 教、 教]のことである。インド人の多くが信仰する[② 教]も信者数が多い。
- (2) インドで生まれた[① 教]は、[②]が始めたもので、中国、タイ、日本など東アジアや東南アジアで信仰されている。
- (3) 豚肉を食べてはいけないのは[① 教]で、牛肉を食べてはいけないのは[② 教]である。

(1)①	(1)②	(2)①
(2)②	(3)①	(3)②